

3年生が自宅学習期間に入り、学校は1・2年生のみの少し寂しい時期になってきました。この時期になると、来年度の就職・進学に向け、1・2年生を対象にした様々な行事が行われるようになります。県内企業説明会、大学進学セミナー、産業現場見学、先輩の話を聞く会等。すべての行事が、皆さんの進路選択のヒントになることを願っています。

大学進学セミナー開催 1月28日(火)

本校において、県内の工業高校生を対象にした大学進学セミナーが開催されました。このセミナーの目的は「目標を同じくする他校の生徒とセミナーを通じて、互いに切磋琢磨する気持ちの醸成と、これからの学習への取組に対する意識の高揚を図る」となっています。本校から20名、他校から13名の生徒が参加しました。主な内容は以下のとおりです。

①国立大学の入試状況の説明

鹿児島工業高等学校 木下景介先生

②推薦入試・センター試験過去問題解答と解説

機械工学科 担当 鹿児島工業 山元貞介先生

電気電子(情報)工学科 担当 鹿児島工業 原 清一郎先生

教育学部技術科 担当 鹿大教育学部 辻 智範氏

普通科数学 担当 鹿児島工業 宮園 和真先生

③本校卒業生による意見・体験発表

鹿児島大学教育学部 学校教員養成課程 技術専修 3年 富迫 克喜氏

④鹿児島大学の先生による模擬授業

鹿児島大学工学部 情報生体システム工学学科 助教 三嶋 道弘氏

参加した生徒にとって、このセミナーが進路実現に向かう大きなきっかけになったことでしょう。



大学の入試って変わるの？

来年度から大学入試が大きく変わる予定です。皆さんも報道などで耳にしていると思いますが、英語の外部テスト(英検など)の導入など、当初予定していたことが見送られ、現在でも混乱しています。本校は、就職希望者が多いため、あまり興味がないかもしれませんが、進学の場合、特に本校に関係あるA0入試、推薦入試の変更点を挙げてみましょう。

①「入試」ではなく「選抜」という言い方になる

一般入試 → 一般選抜

A0入試 → 総合型選抜

推薦入試 → 学校推薦型選抜

②時期が変わる

A0・推薦共に、合格発表の時期が今までより1か月程遅くなります。

③面接だけの試験がなくなる

A0・推薦入試においては、小論文、プレゼンテーション、教科・科目に係るテスト、共通テスト等のうち、いずれかの活用が必須化。ちなみに、調査書の形式も変わり、枚数制限も無くなるため、部活や生徒会、ボランティアや各種大会等の活動報告も重要視されます。



SDGs（持続可能な開発目標）“2030年までに達成すべき17の目標”

昨年の夏、進路指導室である企業の方から、右のような図案をかたどったバッジを頂きました。現在グループ企業を挙げて取り組んでおられ、その意思表示のためのバッジだそうです。共同募金の赤い羽根や乳がんのピンクリボンと同様です。面談した企業は、会社の特徴を生かし、木材を使って制作し、関連企業に配布していただけるそうです。その後、著名人がつけているのをテレビで見て、詳しく知りたいと思い調べてみました。



17色の色で表現されています。

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略で、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で、世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標。17の目標を分かりやすくアイコンで表したものが、下の図です。2018年7月に発表されたSDGs達成ランキングにおいて、日本は156カ国中15位。トップ5はスウェーデン、デンマーク、フィンランド、ドイツ、フランスです。



ちなみに日本は17の目標のうち、達成されていると評価されたのは「目標4：質の高い教育をみんなに」の一つのみ。そのほかの目標は未達成となっています。SDGsは国や政府、企業だけが意識すべき目標ではなく、私たち一人ひとりにも密接に関わっている問題です。皆さんが希望している企業も、取り組んでおられるかも知れませんね。

学年末考査は「占い」ではありません。

来週から、学年末考査が始まります。この学年の最後の定期考査で、成績(評定)にも大きく関わってきます。就職したい会社があっても求人票が出されても、その会社が求める評定に達していなければ受験することさえできません。進学も同様です。

定期考査は普段の授業をしっかり受け、復習しているかを確認するための問題です。高校での学習内容を身に付けているかどうかをみるための「健康診断」のようなものです。まったく勉強もせずにテストを受けて結果だけを見ても、それは「占い」と同じです。たとえ、たまたまヤマがあたって点数だけとれたとしても、実力が付いていなければいずれ大きな失敗につながるでしょう。学年の締めくくりとして、次の学年に良いスタートが切れるようにしっかり復習してテストに臨みましょう。

もちろん、提出物などをしっかり出すことも大事なとは言ってもありません。